

桃李歌壇―「歌仙の部屋」

歌仙 『天つ日に』の巻

真奈 捌

発句 天つ日にこそばゆさうや金縷梅は

笑

脇 鶯笛を吹けば柔風

真奈

第三 鞠つきのひふみよいむな長閑にて

丹仙

4 夢の転がる沖の白波

悦子

5 黒じよかを雲みの月の間に間にと

重陽

6 新蕎麦を打つ音の幽けし

梶

1 キャンパスに秋のリルケを読みふけり

真奈

2 ピアフのやうに歌ふ東の間

丹仙

3 タロットで婚期占ふ娘アラフオー

悦子

4 笑っちゃうほど福がくるらし

重陽

5 三毛猫に手招きされて潜る門

梶

6 空薫の香の廊の長々

笑

7 月の野を歩いて替はる夏の夢

丹仙

8 太古の耳は蚊の声に起き

真奈

9 気がつけばドップラー効果そこここに

重陽

10 長距離列車通る踏切

悦子

11 毛皮着て花形女優ポーズとり

笑

12 冴ゆる銃身恋の鞘当

梶

1 ひたと抱く神に破約のうつくしき

真奈

2 レダの腕（かひな）にしばし微睡む

丹仙

3 悠久の大河流るる故郷へ

悦子

4 思へば今は摩天楼群

重陽

5 ゴンドラに放浪癖の蝸牛

梶

6 遊俳優団扇ばたばた

笑

7 坊様が簪買うて逃げてゆく

丹仙

8 隠れし眼天井敷敷に

真奈

9 妖艶なパントマイムに魅入られて

重陽

10 愛されたいと踊るタンゴに

悦子

11 小牡鹿の吊橋を来る荒き息

笑

12 いざや出陣月の杯

梶

1 昭和史の余白に黙（もだ）の肌寒し

真奈

2 「サヨンの鐘」を日本語で聞く

丹仙

3 薄明かり男もすなる長き髪

梶

4 杼の行き交へる翳を伴ひ

笑

5 白球に一喜一憂花を待つ

悦子

6 真さきく笑ふ士（たけ）き山々

重陽